

## Ⅶ 平成 28 年度 目標の達成状況

『愛知県図書館の基本的な運営方針』（平成 26 年 8 月策定。以下『運営方針』という。）に基づいて、10 年の計画期間の前半の平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 年間における運営に関する 5 つの指標を選定し目標を設定した。

5 つの指標は、『運営方針』の愛知県図書館が担う 4 つの役割に沿っている。

以下に示す計画の 3 年目の平成 28 年度の達成状況は、いずれも目標に達していないので、今後も点検・評価と改善を実施し、平成 30 年度の目標達成を目指す。

### Ⅱ 愛知県図書館の役割

- 1 愛知県のすみずみまで図書館サービスを届けます。
- 2 市町村立図書館や公民館図書室の運営を支援します。
- 3 図書館や関係機関のネットワークをつくります。
- 4 図書館活動を支える県図書館の体制を整えます。

『愛知県図書館の基本的な運営方針』

指標 1	平成 25 年度実績	平成 28 年度実績 (A)	目標(B) (平成 30 年度)	進捗率 A/B
利用登録者数	46,543 人	45,090 人	52,000 人	86.7%

○利用登録者数は、近年来館者数とともに連続して減少傾向にあり、平成 28 年度も前年度より 1.5 パーセント減少した。

➡ 来館者、利用登録者数の増加に向けて方策を検討する。

区分	H26 年度	H27 年度	H28 年度	前年比
利用登録者数 (人)	46,409	45,798	45,090	98.5%
うち新規登録者数 (人)	15,697	14,686	13,611	92.7%
来館者数 (人)	607,148	602,615	583,865	96.9%

※利用登録者数：各年度末時点で有効期限内（発行後 3 年）の利用カードを所持する利用者数

指標 2	平成 25 年度実績	平成 28 年度実績 (A)	目標(B) (平成 30 年度)	進捗率 A/B
遠隔地返却の利用数	2,516 冊・点	2,567 冊・点	3,200 冊・点	80.2%

○対象の 19 市町村に在住する利用登録者数は、平成 29 年 4 月末現在 2,006 人で、平成 27 年度より 23 人増加しており、遠隔地返却の利用数は 3 年間で 2% 増加した。平成 24 年度の開始から 5 年を経過し、対象外の市町村の利用者からも要望や問い合わせが寄せられている。

○遠隔地返却資料の返却・配送中の状態を把握するため図書館電算システムの改修を行い、返却窓口となる市町村図書館側の利便性の向上を図った。

➡ 今後も対象市町村を増すよう、他の図書館にも協力を求めていく。

#### ※「遠隔地返却」

利用者個人が県図書館で借りた資料を、最寄りの市町村立図書館の窓口で返却できるサービス。

平成 29 年 4 月現在 19 市町村対象。（東三河：豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村、西三河：岡崎市、碧南市、西尾市、高浜市、幸田町、知多：半田市、常滑市、南知多町、美浜町、武豊町、阿久比町）

指標 3	平成 25 年度実績	平成 28 年度実績 (A)	目 標(B) (平成 30 年度)	進捗率 A/B
ラストワン参加市町村数	37 市町村	46 市町村	48 市町村	95.8%

○愛知県内の公立図書館が所蔵する希少な資料を保存するための「あいちラストワン・プロジェクト」は、平成 28 年度は新たに 4 市町がプロジェクトに参加した。

➡ 未参加 2 市に問題点や課題等を聴取し、プロジェクトへの参加を働きかけていく。

指標 4	平成 25 年度実績	平成 28 年度実績 (A)	目 標(B) (平成 30 年度)	進捗率 A/B
県内及び東海・北陸地区の 協力貸出・相互貸借数	61,060 冊・点	64,527 冊・点	70,000 冊・点	92.2%

○県内市町村立図書館への協力貸出と県内市町村立図書館間の相互貸借冊（点）数は、ともに減少し、合計で前年比 5%の減となった。

○県内図書館を除く東海北陸地区の図書館への協力貸出と相互貸借については微増であり、堅調に推移している。

➡ 今後も引き続き、愛知県公立図書館長協議会や愛知図書館協会、また東海北陸地区公共図書館協議会の場などを通じ、協力貸出と相互貸借の利便性について周知し、連携を深めていく。

区 分		H26 年度	H27 年度	H28 年度	前年比
県内市町村立図書館 (冊・点)	協力貸出	18,313	20,282	17,508	86.3%
	相互貸借	38,783	43,319	42,930	99.1%
	計	57,096	63,601	60,438	95.0%
県内を除く 東海北陸の図書館 (冊・点)	協力貸出	1,196	1,477	1,413	95.7%
	相互貸借	2,319	2,581	2,676	103.7%
	計	3,515	4,058	4,089	100.8%
合 計		60,611	67,659	64,527	95.4%

指標 5	平成 25 年度実績	平成 28 年度実績 (A)	目 標(B) (平成 30 年度)	進捗率 A/B
インターネット アクセス数	1,319,000 回	1,183,894 回	1,583,000 回	74.8%

○指標 5 の実績は、トップページビュー数を採用しているため、平成 27 年度から減少している。しかし、蔵書検索ページのアクセス数は堅調に伸びており、平成 28 年度は 1,950,207 回（前年度比 140.6%）であった。このことは、トップページを経ずに直接蔵書検索を行う利用者が増えていることを示している。

➡ 平成 29 年度以降も、魅力的な企画展示や講演会、イベントなどの情報を積極的に発信するとともに、県図書館が所蔵する貴重資料等のデジタルアーカイブ化を進めるなど、トップページのコンテンツの充実を図っていく。

## VIII 平成28年度事業の点検・評価集計表

『愛知県図書館の基本的な運営方針』（平成26年8月策定）の「V 事業計画の策定と点検・評価」に基づき、平成28年度事業計画の達成状況について、点検・評価を行った。

凡例

(評価区分)

A：計画を大きく上回った(120%以上) D：計画をやや下回った(90%)  
 B：計画をやや上回った(110%) E：計画を大きく下回った(80%以下)  
 C：計画どおり(100%)

役割	項目	評価					計
		A	B	C	D	E	
1 愛知県のすみずみまで図書館サービスを届けます	(1) どこでも、いつでも、誰でも、使える図書館			6	1		7
	(2) 地域の文化・産業を支える図書館		1	4			5
	(3) 仕事や生活に役立つ図書館		1	1			2
	(4) 若い人に読書の愉しみを伝え知の力を育てる図書館			2	1		3
	(5) 生涯学習を支える図書館			3			3
2 市町村立図書館や公民館図書室の運営を支援します	(1) 資料の提供			1			1
	(2) 除籍される資料の保存とあいちラストワン・プロジェクトの推進			1			1
	(3) 運営の助言			1	1		2
	(4) 人材の育成			1			1
3 図書館や関係機関のネットワークをつくります	(1) 「資料搬送・情報」のネットワーク			1			1
	(2) 「にぎわい」のネットワーク			1			1
	(3) 「人」のネットワーク			1			1
	(4) 「危機対応」のネットワーク			1			1
4 図書館活動を支える県図書館の体制を整えます	(1) 拠点図書館としての資料の収集と保存			3			3
	(2) 職員の育成と効率的な組織づくり			2			2
	(3) 新たな図書館サービスの調査研究・開発			1			1
	(4) 利便性の高い施設づくり			3			3
	(5) 効果的な広報活動			3			3
項目計		0	2	36	3	0	41

## Ⅹ 平成28年度事業の点検・評価及び平成29年度事業計画

1 すべての県民への図書館サービスの提供					
指標	1 ◆利用登録者数	平成28年度 45,090人 (目標52,000人に対する進捗率 86.7%)			
指標	2 ◆遠隔地返却の利用数	平成28年度 2,567冊・点 (目標3,200冊・点に対する進捗率 80.2%)			
運営方針			平成28年度 事業計画		
	項目		行動目標		
(1) どこでも、いつでも、誰でも使える図書館	ア どこでも、いつでも使える図書館	県図書館に来館することが難しい県民に対するサービスを充実させ、愛知県図書館を身近にします	①	協力貸出を申し込んでから届くまでの日数を短縮します	資料搬送の週2 便化希望の市町村立図書館9館との試行運用を継続
			②	個人貸出を行っていなかった、地域資料を貸出できるようにします	◆新規 H28年10月をめどに、試行(H28年3月開始)の効果や問題点を確認し今後の方針について検討
			③	雑誌を協力貸出の対象とし、市町村立図書館で利用できるようにします	市町村立図書館への貸出冊数、期間、貸出可能な刊行年等の貸出案を作成する。合わせて、図書館システムの改修が必要になるため、その仕様を作成
			④	遠隔地返却制度の対象範囲の拡大を図ります	新規参加候補の図書館との間で搬送計画を作成
			⑤	デジタル資料を積極的に導入します	a 音楽配信サービスの提供 b 「貴重和本デジタルライブラリー」に順次新しいタイトルを追加
	イ 誰でも使える図書館	様々な生活条件を担っている人へのサービスを充実させます	⑥	県図書館での障害者、高齢者、外国人などへのサービスを拡充します	a テキストデジターの試作を行い、運用について検討 b 障害者用資料の拡充を検討 ◆新規 c 障害者サービスに関する企画展示を開催
			⑦	市町村立図書館との連携を深めます	県教育委員会や関係団体との連携による研修事業を実施
(2) 地域の文化・産業を支える図書館	ア 地域資料の収集・保存・提供	地域資料の収集・保存に力を注ぐとともに、効率的に利用できる提供方法を確立します	⑧	地域資料を重点的に収集します(重点分野を年度ごとに決めて収集します)	◆新規 地域の産業及び文学に関する資料を重点的に収集
			⑨	ホームページで公開している「貴重和本デジタルライブラリー」を拡充します	「貴重和本デジタルライブラリー」に引き続き新しいタイトルを追加
			⑩	地域資料のデジタル化を推進します	◆新規 地域の産業関係を中心とした資料の購入およびデジタル化を実施
	⑪	ホームページ内に「愛知県関係資料ポータル」を新設します	H27年に開設したポータルサイト内の連携機関リストの拡大、データ・リンク等のメンテナンス及び新規情報の追加		
イ 愛知の産業の発展に貢献する資料の提供	産業の発展に貢献する資料を提供します	⑫	産業分野に関連する資料を重点的に収集します	a 製造業や農林水産業など従来タイプの産業分野に関する資料を充実する。 ◆新規 b 6次産業や7次産業など、今後の地方創生を担う新産業分野の資料の積極的収集	

平成28年度 達成状況		評価	平成29年度事業計画 ◆新規(重点)については、「利用拡大に向けた検討項目」
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           凡例            (評価区分) A: 計画を大きく上回った(120%以上)            B: 計画をやや上回った(110%)            C: 計画どおり(100%)            D: 計画をやや下回った(90%)            E: 計画を大きく下回った(80%以下)         </div>			
9館との試行運用を継続	C	①	H28年度に試行実施した9館の週2便を定期化。利用状況や各館の意向を調査し、対象館の増加などについて検討
H27年度に選定した地域行政資料について、個人への貸出の試行を実施。H29年3月に、効果や問題点を確認し、貸出希望の多い資料は同一本を他部門で用意し貸出に対応することに決定	C	②	H28年度の決定に基づき、地域資料のうち貸出希望の多い資料は同一本を他部門で用意し貸出を実施
和雑誌を対象として貸出冊数、期間、対象雑誌の刊行年等の貸出案を作成した。この案による図書館システムの改修は、現行システムの運用経費の範囲で対応できないことが判明したため、第5期図書館システム(H31年3月稼働)全体の仕様作成の中で行うこととした	D	③	第5期図書館システム(H31年3月稼働)構築に向け、仕様を決定
H29年度からの拡大対象地候補3館への搬送計画を策定	C	④	新たに3市町を対象地に追加。対象3図書館の利用状況を踏まえ搬送便の週2便化の検討
継続して提供 b「貴重和本デジタルライブラリー」に新たに20タイトルを追加、計163タイトル	C	⑤	「貴重和本デジタルライブラリー」に順次新しいタイトルを追加 ◆新規(重点) ものづくり文化関係の資料を含む地域の産業関係資料についてのデジタル情報の整備を実施
a テキストデイジーの試作を実施。製作方法等運用について検討を実施 b マルチメディアデイジー及び児童用の大活字図書を新たに購入し、使用を開始 c ミニ展示「読書のバリアフリー」(H28.12.9～29.1.11)を開催し、障害者用資料と障害者サービスについて紹介	C	⑥	テキストデイジー作成ソフト※1の扱いの習熟に努めるとともに、製作方針、協力員への報酬等について、他の先進館の事例を元に検討 ◆新規 新たな視覚障害者サービスや広報方法の検討
愛知県公立図書館長協議会及び愛知図書館協会との共催で、デジタル化研修を開催(参加46名(2月))	C	⑦	a 県教育委員会や関係団体との連携による研修事業を実施 b 市町村図書館訪問や地区別の図書館関係団体の会議等への参加
地域の産業及び文学に関する資料を中心に産業関係の古書54点を含む1015点を購入	C	⑧	地域の文学に関する資料を重点的に収集 ◆新規(重点) 愛知のものづくり文化関係の資料を中心に地域の産業に関する資料の収集
「貴重和本デジタルライブラリー」に新たに20タイトルを追加、計163タイトル(⑤再掲)	C	⑨	「貴重和本デジタルライブラリー」に順次新しいタイトルを追加(⑤再掲)
愛知県の産業に関する古書54点を購入。既蔵の和本と合わせて、111点(5,100コマ)のデジタル化を実施	C	⑩	H28年度購入した地域の産業関係資料及び今年度収集するものづくり文化関係の資料を含む地域の産業に関する資料についてデジタル情報の整備を実施
ポータルサイト内の連携機関リストの拡大、データ・リンク等のメンテナンスを実施	C	⑪	ポータルサイト内の連携機関リストの拡大、データ・リンク等のメンテナンスと情報の追加を実施
a 重点的に収集 b 今後の地方創生を担う新産業分野については、地方自治等関係分野の図書加えて収集	B	⑫	◆新規(重点) a ものづくりを担う企業や法人についての情報収集に資するため、社史・団体史の収集 b ものづくり文化関係の資料を中心に地域の産業に関する資料の収集(⑧再掲)

※1 テキストデイジー： デイジー (DAISY)は「Digital Accessible Information System」の略で、誰もが使えるアクセシブルなデジタル資料のこと。国際標準規格になっている。テキストデイジーとは テキスト(文字)だけのデイジー。合成音声ソフトで読み上げたり、大きく表示したりして利用できる。

1 すべての県民への図書館サービスの提供			
運営方針			平成28年度 事業計画
項目	行動目標		
仕事や生活に役立つ図書館	県民が必要とする情報を速やかに提供するためのサービスの充実を図ります	⑬ 情報の入手に有効なオンラインデータベースを積極的に導入します	昨年度選定したDB 3種（Mpac※1、JDreamⅢ※2、医中誌Web※3）に加え、既導入のDBの見直しを行い、今後の図書館サービスに必要なDBの組み合わせを検討
		⑭ 資料の配置や表示をより利用しやすいものにします	効果的なサインと表示の見直しについて、館内の委員会で検討し必要な改正を実施
若い力を育てる読書の楽しみを伝え知	児童と大人の間にある若年層に向けて、読書の重要性を呼びかけます	⑮ 若年層に向けた新しいイベントを開催します	a H27年度のアンケート結果を生かした魅力的なイベントの開催 ◆新規 b 開館25周年の記念行事の中で若年層向けのイベントを開催
		⑯ インターネットを利用した若年層向けの情報発信を充実します	「第5回てこぼん大賞」※6のホームページ投票フォームからの投票の受け付け継続と、PR活動の強化
		⑰ 高等学校など関係機関との連携や支援を実施します	H27年度の学校図書館活性化モデル事業*の結果を踏まえて、学校図書館への支援を検討 *平成27年度県教育委員会単年度事業。モデル校3校に対して1,065冊を貸出
(5) 生涯学習を支える図書館	図書館を生涯学習の場として活用できるようにします	⑱ 資料や情報を利用するための力の向上のお手伝いをします	利用者向けに図書館資料に関する講座を開催
		⑲ ボランティア活動の機会を提供するとともに、ボランティアとの協働を充実します	a おはなし会サポーターの勉強会を開催 b 大人向けおはなし会の開催
		⑳ 資料や情報を媒介としたコミュニケーションの場の提供に努めます	◆新規 開館25周年の記念行事として、利用者参加型イベントの充実

※1 Mpac（エムバック）：市場調査データ、コンビニPOSデータ、家計調査データ、消費者アンケートなどマーケティング情報をまとめて調査することができるデータベース

※2 JDreamⅢ：1975年以降の国内外の科学技術全分野の雑誌・技術リポート・会議録から採録した、わが国最大の科学技術関連文献抄録データベース

※3 医中誌Web：国内の医学、歯学、薬学及びその周辺分野の文献の抄録・索引データベース

2 市町村立図書館等への支援			
指標 3 ◆ラストワン参加市町村数 平成28年度 46市町村 (目標48市町村に対する進捗率 95.8%)			
運営方針			平成28年度 事業計画
項目	行動目標		
供資(1)の提供	広域的な観点に立って資料の提供・保存に取り組めます	㉑ 県内の図書館の所蔵資料に関する情報を迅速・的確に入手できるようにシステム等を整備します	雑誌・新聞総合目録システムの速やかなデータ更新と確実なメンテナンスを継続
トップと資料除(2)の推進		㉒ 県内最後の1冊となる資料を保存します	あいちラストワン資料の受入・整理の継続と参加館拡大

平成28年度 達成状況	評価	平成29年度事業計画 ◆新規(重点)については、「利用拡大に向けた検討項目」
既導入の商用DBのうち、法判例情報DBについて見直し、TKCローライブラリー※4に変更。また、無償公開されている愛知県公報、愛知県統計及びUN Data（国連各機関の統計）について、検索、閲覧、複写のための利用許諾を取得	B	⑬ ◆新規（重点） 有用なオンラインDBの調査、情報収集を継続するとともに、必要なDBの導入を検討
飲食の可否と電子機器使用の可否について、ピクトグラムを使用してサインを作成し、1階の閲覧用平机6台に設置（10月） 電話ボックスの利用について、ピクトグラムを使用してサインを作成し、1階から4階の電話ボックスの扉に掲示（10月） 書架の配置の案内表示について、全館共通のデザインでサインを作成し、3階と4階の柱に掲示（3月）	C	⑭ ◆新規（重点） 1階のクリエイティブ・ゾーン（仮称）※5開設に向け、資料の配置や利用についてのサイン掲示を実施
25周年事業としてクイズスタンプラリーを子ども、大人を対象を分けて開催（7月15日～9月15日） 参加者557名	C	⑮ ◆新規（重点） a 愛知県立三谷水産高等学校、愛知県水産試験場と連携し「ウナギ」についての講演会等を実施 b NPOくらしとパイオプラザ21等と連携してサイエンス・カフェを試行
「第5回てこぼん大賞」のホームページ投票フォームからの投票の受け付けを継続。近隣の学校、市町村図書館等へのチラシの配布、メーリングリスト等による情報発信などPRを実施	C	⑯ 「第6回てこぼん大賞」のホームページ投票フォームからの投票の受け付け継続と、PR活動の継続
学校図書館への搬送経費が十分確保できず、延べ6校への491冊の協力貸出に留まった	D	⑰ 本県で効果的に実施可能な学校図書館支援策について、教育委員会と連携し、他県の調査をするなど検討を実施
25周年事業として「県指定文化財『尾張国絵図』『三河国絵図』の特別公開」で資料について解説講座の開催（4月）	C	⑱ 子ども向け図書館講座、データベース利用講座等利用者向けに図書館資料に関する講座を開催
a 「読書のアニメーション」をテーマにおはなし会サポーターの勉強会を開催（12月） b 短編小説の朗読と昔話のストーリーテリングを内容とした「大人のためのお話会」（2月）を開催	C	⑲ a 乳幼児向けおはなし会の定期開催に向けて、新規サポーターを募集 b 大人向けおはなし会の開催
愛知県指定文化財『尾張国絵図』『三河国絵図』の特別公開と、実物大レプリカの上を歩いて間近で見るイベントの実施（4月） クイズスタンプラリーの実施（7月～9月） 入館者2000万人を記念絵はがきを来館者へ配布（11月）	C	⑳a ◆新規（重点） a 他機関との連携を前提としたイベント等の実施に向け準備を実施 ◆新規（重点） b aを実施するためのスペースとしてクリエイティブ・ゾーン（仮称）の整備 ⑳b

※4 TKCローライブラリー：判例、現行法令、法律文献情報、速報判例解説、法律雑誌コンテンツを提供する法情報総合データベース

※5 クリエイティブ・ゾーン：企画展示、イベント、ワークショップ、集団学習などに提供する場

※6 てこぼん：「ティーンズユナー ポイントGet大作戦」の略。おすすめ本のPOPを書くと、しおりやグッズがもらえる。年に1回、投票により大賞を決定。

平成28年度 達成状況	評価	平成29年度事業計画 ◆新規(重点)については、「利用拡大に向けた検討項目」
速やかなデータ更新と確実なメンテナンスを実施し安定的に運用	C	㉑ ◆新規 次期図書館電算システムに向けて、現行システムと同水準以上の機能を確保するための要件を整理し仕様を確定
46市町村の図書館が参加（2市の図書館が未参加） 参加館から632冊を受入	C	㉒ 未参加2市への参加の呼びかけ継続とラストワン資料の受入・整理の継続

2 市町村立図書館等への支援				
運営方針			平成28年度 事業計画	
項目	行動目標			
運 営 の 助 言 (3)	市町村立図書館等がより質の高いサービスを提供できるよう、運営を支援します	⑳	県図書館へのニーズを把握するため、職員による市町村立図書館訪問を実施します	市町村の中央図書館の1/3（16館）以上訪問
		㉑	図書館未設置町村の公民館図書室への支援を充実するとともに、自治体の理解を促します	図書館が設置されていない町村の公民館図書室等を訪問し読書活動の推進を働きかける
人 材 の 育 成 (4)		㉒	市町村立図書館の人材育成を支援します	a 県教育委員会や関係団体との連携による研修事業を実施 ◆新規 b 市町村立図書館職員等を対象としたデジタル化推進の研修を実施

3 サービスを広げる図書館ネットワークの形成				
指標 4 ◆県内及び東海・北陸地区の協力貸出・相互貸借数 平成28年度 64,527冊・点 (目標70,000冊・点に対する進捗率 92.2%)				
運営方針			平成28年度 事業計画	
項目	行動目標			
ワ ネ 報 送 の 情 料 の 搬 送 (1)	個々の図書館では実施できないサービスの充実を図ります	㉓	効率的な資料搬送ネットワークにより相互貸借体制を維持・発展させます	a 東海・北陸地区の定期便を継続 ◆新規 b 静岡県立図書館との定期便運行の試行開始
ト ワ の ク ネ ワ ツ (2)		㉔	県内図書館等と連携したイベントの充実を図ります	◆新規 a 博物館・美術館、公文書館、市町村立図書館等とのMLA連携推進についてのフォーラムの開催 b 県内公立図書館連携イベントを開催し、共同での広報を実施
ク の ネ ツ ト ワ ノ ト ワ (3)		㉕	図書館の関連機関との人的な連携を深めていきます	◆新規 県内図書館、博物館・美術館、公文書館等の地域の文化芸術資源を保管・活用している機関で、MLAに関する検討会議を開催
ク の ネ ツ 機 ト 対 ワ (4)		㉖	県内外の図書館や図書館関係団体等との連絡調整に努めます	◆新規 H29年度に当館で開催予定の東海北陸地区公共図書館研究集会の実施計画を策定する

4 図書館活動を支える県図書館の体制の整備				
指標 5 ◆インターネットアクセス数 平成28年度 1,183,894回 (目標1,583,000回に対する進捗率 74.8%)				
運営方針			平成28年度 事業計画	
項目	行動目標			
の 収 集 と 保 存 (1) 拠点図書館としての資料	料多アの様な収集資料	㉗	資料収集計画を策定し、市町村立図書館では購入しにくい資料などを計画的に収集します	◆新規 県立図書館として必要な資料やデジタル化対象資料を収集するための年度計画を策定し、計画的に収集
	ヘ デ イ ジ タ ル 資 料 の 対 応	㉘	デジタルで利用可能な資料への対応を図ります	a 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供 ◆新規 b 地域の産業関係を中心とした資料の収集及びデジタル化を実施
	保 資 ウ 存 料 の	㉙	資料の補修の方針を策定し、計画的に実施します	H27年度に策定した資料補修計画に従い、必要な補修を実施

平成28年度 達成状況	評価	平成29年度事業計画 ◆新規(重点)については、「利用拡大に向けた検討項目」	
先進事例の調査、会議出席、講師派遣時のニーズ聴取などを実施するため訪問したが、13館に留まった	D	⑳	市町村の中央図書館の1/3以上を計画的な訪問を実施
図書館未設置町村のうち、南知多町を訪問し、貸出文庫の利用状況や遠隔地返却に関する要望の聴取を実施	C	㉑	公民館図書室の行う読書活動に関し、その推進と自治体の理解を促すために訪問を実施
愛知県公立図書館長協議会及び愛知図書館協会との共催で、デジタル化研修を開催（参加46名（2月））	C	㉒	◆新規 a 東海北陸地区公共図書館協議会と共催で東海北陸地区公共図書館研究集会を開催 b H30年度開催予定の文科省の東海・北陸地区図書館地区別研修のプログラム等を策定

平成28年度 達成状況	評価	平成29年度事業計画 ◆新規(重点)については、「利用拡大に向けた検討項目」	
a 東海・北陸地区の定期便を継続 b 静岡県立図書館との定期便運行を9～12月に試行、静岡県からの申し出により本格実施は見送り	C	㉓	東海・北陸地区の定期便の恒常的な運行を引き続き実施
a フォーラム「図書館のチカラ」を開催(参加者 135名 (3月)) b 県内図書館共通イベント@ライブラリーとして、「アートを発見！」では28館において43イベントを実施、「ふるさとの伝統文化」では12館において18イベントを実施	C	㉔	県内公立図書館連携イベントを開催し、共同での広報を実施 ◆新規(重点) 新たな図書館活動の実施に向けた図書館フォーラムを開催
MLAに関する検討会議を2回開催し、今後の連携の在り方について協議	C	㉕a ㉕b	◆新規(重点) a 他機関との連携を前提としたイベント等の実施に向け準備を実施 ◆新規(重点) b 愛知のものづくり等を中心として資料収集基準等の改正に向け有識者の意見を聴取
東海北陸地区公共図書館研究集会の実施計画を策定	C	㉖	a 東海北陸地区公共図書館協議会会長館として館長会議及び東海北陸地区公共図書館研究集会を開催 b H30年度開催予定の文科省の東海・北陸地区図書館地区別研修のプログラム等の策定(㉕b再掲)

平成28年度 達成状況	評価	平成29年度事業計画 ◆新規(重点)については、「利用拡大に向けた検討項目」	
資料収集計画を策定し、近世・近代の本県産業に関する地域資料及び市町村立図書館に対する協力貸出用図書として、産業・科学技術・ビジネス関係資料を収集（103冊）	C	㉗	◆新規(重点) 特徴的なコレクション等の構築に向け、資料収集方針等の規程を改正
a 5月提供開始 b 愛知県の産業に関する古書54点を購入。既蔵の和本と合わせて、111点（5,100コマ）のデジタル化を実施(㉘再掲)	C	㉘	◆新規(重点) a ものづくり文化関係の資料を含む地域の産業関係資料についてのデジタル情報の整備を実施(㉘再掲) b 企業、産業経済団体等が所蔵する歴史的産業関係資料のデジタルアーカイブを検討
策定した資料補修計画に従い、必要な補修を実施（約500冊）	C	㉙	策定した資料補修計画に従い、必要な補修を実施

#### 4 図書館活動を支える県図書館の体制の整備

項目		運営方針		平成28年度 事業計画	
項目		行動目標			
づ くり (2) 職員の育成と効率的な組織	職 員 の 育 成 ア	研修や人材育成を行うとともに、組織と業務を精査します	③③	人材の育成に努めスキルアップを図ります	a デジタル化推進の研修等に参加。館内レファレンス研修を10回実施  ◆新規 b 新規採用職員育成プランの作成。司書職員全体の育成計画の見直しと研修計画の作成
	効 率 的 な 組 織 づ くり イ		③④	組織運営の点検・見直しを行い、改善を図ります	適正な人員配置によるサービスレベルの維持と専門的スキルの継承を目指す
研 究 ・ 開 発 サ ー ビ ス の 調 査 新 た な 図 書 館 ア 	県民や市町村立図書館の意見を踏まえ、新しい方向性を探ります	③⑤	新しい図書館サービスを調査研究し、先進的なサービスを試行します	a テキストデジターの試作を行い、運用について検討  b 先進事例の調査の継続及び収集した情報を元に新サービスを検討	
(4) 利便性の高い施設づくり	快 適 ・ 安 心 な 施 設 づ くり ア	快適に安心して使える施設をめざします	③⑥	居心地良く快適に利用できるよう、施設環境を整備します	a 閲覧席の椅子の修繕完了  b 薬品を使用した閲覧機の清掃、ソファの張替え
	設 高 の サイ ズ 水 準 ビ リ 施 を ス		③⑦	安心して利用できるよう、施設の点検・修繕を計画的に行います	◆新規 非常用充電機点検設備、自動火災報知設備改修工事を実施
			③⑧	サービスの水準を高めるのに必要な機能の整備に努めます	◆新規 電動集密書架の点検と一部分の改修工事の実施(新規)
(5) 効果的な広報活動	化 広 ア 報 手 法 の 多 様 ア	県図書館をより多くの方に知っていただくために、従来の広報手法に加えて新しい手法も展開します	③⑨	スマートフォン対応のホームページを整備します	◆新規 ホームページのスマートフォン対応の拡充に向けて、他館の状況調査を踏まえ、コンテンツを整備
	ム 人 イ ベ ー 集 ま る ホ ー ム ペ ー ジ づ くり イ	利用者の読書活動を支援する機能の充実に努めます	④⑩	ホームページに子どもの読書活動を支援するページを設置します	子どもの読書活動を支援するページを順次拡充
	報 他 ウ 機 関 と の 連 携 に よ る 情 報 発 信 ウ	情報発信を新たなサービスの検討に活かします	④⑪	他機関と連携して互いの行催事の情報発信	a 市町村立図書館等と連携した広報の実施  b 他機関と連携した講演会や資料展示を通じての情報発信

平成28年度 達成状況	評価	平成29年度事業計画 ◆新規(重点)については、「利用拡大に向けた検討項目」	
a デジタル化研修会など23の研修を実施(参加延べ64名) 館内レファレンス研修を10回実施  b 6月に育成プランを策定し研修を実施。また、当該プランに基づき平成29年度の研修計画を策定	C	③③	◆新規(重点) a 集客、企画を担う人材を育てるため、平成30年度から実施する新しい研修プログラムを策定 aの研修プログラムに基づき研修を試行
カウンター業務を見直し、企画業務等の充実のための時間捻出について試行を実施	C	③④	◆新規(重点) a 4つの集客プロジェクトチームを設置し、他機関との連携を前提としたイベント、当館ならではの特徴的コレクションの構築等について準備を実施 b 企画を効果的にPRする広報チームを設置し、広報計画を策定 c 人材育成チームを設置し、魅力あるイベントが継続的に実施可能となる人材を育成するプログラムを策定
a テキストデジタイズを試作。製作方法等の運用についての検討(⑥再掲)  b 地域資料の収集の在り方、デジタル化について市町村図書館職員向けの研修会を開催し、事前アンケートや市町村図書館職員の意見を聴取し、デジタル情報の新サービスについて検討	C	③⑤a ③⑤b ③⑤c	◆新規(重点) a 地域情報のデジタルアーカイブ化についてH30年度以降の整備計画を検討 ◆新規(重点) b クリエイティブ・ゾーン(仮称)の整備 ◆新規(重点) c 他機関と連携してイベントを開催
閲覧席の椅子の修繕を実施(3月)  天井脱落防止工事の実施に伴う椅子・机の入替により、薬品を使用した閲覧機の清掃、ソファの張替えに替えて、2・3階の雨漏り修繕、多機能トイレの手洗い蛇口の取り換えを実施(11月、12月)	C	③⑥a ③⑥b	◆新規(重点) a クリエイティブ・ゾーン(仮称)整備事業として利用者用机・椅子・書架の整備を実施 ◆新規(重点) b 大会議室を学習室として使えるように試行
非常用発電機点検設備を実施(3月) 自動火災報知設備改修設計を実施(3月)	C	③⑦	◆新規 自動火災報知設備更新工事を実施 電力設備監視装置改修工事を実施 高圧配電盤保護継電器更新工事を実施 非常用発電機点検・整備工事を実施
電動集密書架の保守点検に基づき、機器の劣化の著しい一部について、改修工事を実施	C	③⑧	H28年度未実施部分の改修工事を実施 ◆新規(重点) 授乳室の整備計画策定
都道府県立図書館を対象にアンケートを実施し、第5期図書館電算システムに盛り込むべき要件について検討	C	③⑨	第5期図書館電算システム用スマートフォン対応ホームページの仕様を作成
児童図書室の案内のページに、子どもの読書支援のページを追加し、「子どもと本をつなぐ人たちへの参考図書」、「大型絵本・大型紙芝居・点字つき絵本のリスト」、「おはなし会でよんだ本(発行物)」を掲載(12月)	C	④⑩	子どもの読書支援のページに、おはなし会で活用できるわらべ歌、手遊びの本のリスト等を掲載するページを順次拡充
a 県内図書館共通イベント@ライブラリーとして、「アートを発見!」は28館において43イベントを実施、「ふるさとの伝統文化」は12館において18イベントを実施(⑦再掲)  b ・あいちトリエンナーレ2016の関連行事として、トークイベント「アートを読む」を開催(9月) ・(株)日本政策金融公庫との共催で「起業を応援します!」を開催(2月)	C	④⑪	a 市町村立図書館等と連携した広報の実施  ◆新規(重点) 他機関と連携してイベント開催についての情報共有を進め、情報発信を実施